



第
198
号

2021.11.1 発行

市議会 だより

令和3年9月定例会報告

鶴ヶ島市議会

学校で市議会のことを学べれば
大人になってから自分もできると思うかもしれない



生徒による校則の改正に挑戦！
南中学校生徒会の皆様にインタビュー

目次

特集 令和2年度決算	2
市の考えを問う 一般質問	6
9月定例会報告	13
委員会審査(条例)	14
委員会審査(補正予算)	14
◆一般会計・特別会計	
議会報告会2021を開催	16
市民・団体インタビュー	18

安心に暮らせるまち に進んでいるのか

- ☺：コロナ禍で市独自の給付金で、子育て世帯を支援
- ☹：コロナ禍でも、継続して支援ができる体制づくり

コロナ禍における市 民生活支援

- ☺：子育て支援のための給付金や教育環境の整備が促進
- ☹：自治会活動の低下。今後のコミュニティ活動支援

- ☺ 評価する点
- ☹ 課題となる点

子どもの貧困対策

- ☺：コロナ禍、ひとり親家庭への支援策
- ☹：学習併設型子ども食堂が消滅

「平時から非常時に」 予算の見直し

- ☺：不要・不急は延期・中止、市民生活支援重視に
- ☹：先を見通した施策で不安に応える必要

未来を創り出す力を 育む教育の推進

- ☺：鶴っ子土曜塾×大学生WIN-WIN事業
- ☹：情報教育環境活用支援事業

コロナ対策

- ☺：トイレ改修等の感染対策 ひとり親家庭への支援
- ☹：経済的影響を受けた市民への取組



論点

※ 監査委員として審査しています。

について審議を重ねました。
言葉で評価します。

第6次総合計画初年度 の成果を探そう

- ☺：結果的には、職員数を大幅削減している
- ☹：コロナ感染者に何もしていない、何もできない市の現実

継続的な施策の流れ と事業効果

- ☺：地域と連携した太田ヶ谷緑地保全事業
- ☹：職員研修事業の市民目線から見た事業効果

令和2年度 一般会計決算

審査内容の詳細は、
4、5ページに掲載

コロナ禍における事業の執行状況

- 😊：地域の交通安全に資する道水路整備事業
- 😞：一本松駅に関する鉄道利便性向上促進事業

コロナ禍への戦闘態勢は

- 😊：職員の努力・市民の協力で体制維持
- 😞：市民が「わくわく」するような政策の提示

財政のコストパフォーマンスは向上しているか

- 😊：コロナ禍の中でも実効性の高い施策を実現できた
- 😞：齊藤市長の顔が見えるように実現できた施策をアピールしてほしい

人口増に結び付いた政策効果は

- 😊：7年連続の幼保施設への待機児童数「0」
- 😞：将来不安となる人口減少社会にどう政策を打つか

第6次鶴ヶ島市総合計画の初年度であったが、コロナ対策に追われた

- 😊：コロナ禍の中、子育て支援に力を入れた。特に「鶴っ子土曜塾」
- 😞：地域のコミュニティ。人と人とのふれあい等失われつつあるかと懸念される

第6次総合計画の初年度として

- 😊：コロナ禍でも一歩前へ踏み出せた各施策
- 😞：コロナ禍で失われた、支え合い・交流の仕組み



漆畑和司 議員



金泉婦貴子 議員



藤原建志 議員



大曾根英明 議員



山中基充 議長

決算

※ 議長は議事進行を行うため、本会議の審議及び採決には加わりません。

各議員が令和2年度決算
それぞれの議員が自分の



高橋剣二 議員



杉田恭之 議員



小川 茂 議員



持田靖明 議員

鉄道利便性向上促進事業

- 😊：一本松駅バリアフリー整備(エレベーターの設置)
- 😞：一本松駅南口開設が進んでいない

コロナワクチン接種 & 鶴っ子土曜塾

- 😊：いち早くコロナワクチン接種準備に取り掛かったこと
- 😞：市のお知らせを住民に周知する方法の強化

一般
会計

歳入
320億9474万円

歳出
309億2659万円

令和2年度の一般会計決算と特別会計決算（5議案）は、所管の常任委員会に付託され、審査されました。

委員会での審査結果は、いずれも「認定すべきもの」で、最終日の本会議での採決の結果、いずれも認定されました。

一 般 会 計

人 口 対 策

Q 対策とその成果は。

A **政策推進課長** 鶴ヶ島版ネ

ウボラをはじめとした相談支援体制の充実などを進め、安心して子育てができる環境を整備している。また、鶴ヶ島グリーンパークの整備にぎわいと憩いの場の創出を目指す。ほかにも、株式会社関水金属と連携した新たな拠点整備も進め、居住の受け皿づくりを行い、若い世代の転入、定住を促進する。人口増加に関する成果は、正確に把握していない。



新型コロナウイルス感染症
対応地方創生臨時交付金

Q 交付金の使い方の方の検証、課題は。

A **政策推進課長** 子育て支援臨時交付金の給付や事業者

に対する緊急融資事業、また感染症対策に必要な消耗品の購入等を行った。ほかにも、児童・生徒への学習用端末の整備、感染症対策を踏まえた災害備蓄品の整備や感染症に対応した公共施設のトイレ改修等を実施した。今後は、第6次総合計画のリストアットとして、コロナ後を見据えた地域コミュニティの維持に係る取組や地域経済の活性化の事業を進めていきたい。



学習用端末

住民異動等窓口業務委託事業

Q 窓口の外部委託による市民の反応は。また、職員数の削減状況は。

A **市民課長** 混雑期の待合ロビーに案内係を配置したこ

と、転入転出などの際に必要な手続きを示す案内シートを渡すなどし、市民から好評を得た。また、3人の正規職員と5人の会計年度任用職員を削減した。

森林環境基金積立金

Q 積立金の活用は。

A **産業振興課長** 昨年度は、

生ごみ処理器キエーロの購入補助、市民の森整備事業に充当した。今後は、高倉の屋敷林の保全や鶴ヶ島グリーンパークの管理や整備などへの活用を考



生ごみ処理器キエーロ

都市農業活性化事業

Q 鶴ヶ島野菜のブランド化は。

A **産業振興課長** 栽培技術講

習会の開催や、鶴ヶ島産野菜シールを作成して出荷時に貼付するなど、ブランド化や消費拡大に向けた事業を実施している。今後も引き続き、広く周知をしていく。

A **産業振興課長** 新型コロナウイルス感染症の影響で売

上げが減っている市内の30社の中小企業者等に、2940万円の融資を行った。

新型コロナウイルス
ワクチン接種事業

Q 成果と今後の見通しは。

A **保健センター所長** 昨年度は、コールセンターの設置

や接種券の印刷の準備をした。今年度から本格的に接種を開始し、接種券の発送、予約システムの導入、ワクチンを管理するために必要な冷蔵庫の配備、個別接種を実施する医療機関の選定及びワクチンの配送を行った。さらに、保健センターを会場とした、集団接種等を実施している。接種率は、令和3年9月5日時点で、3万7754人、58・94割である。2回目の接種を終えた人は、2万9018人、45・3割である。



障害者支援体制整備事業

Q 事業の成果は。

A 障害者福祉課長 発達障害児の親への支援として、ペアレントトレーニングを行う団体に補助を行った。5歳から10歳までの子がいる保護者を対象とし、NPO法人こっこの会が全7回のプログラムを実施した。

今後も緑地を健全に維持するために、地域の方々、市民団体、スポーツ団体等による協力が必要である。

藤金地区都市計画変更事業

Q 地権者の意見と今後は。

A 都市計画課長 土地区画整理区域・地区計画区域共に、説明会に代わる資料を地権者全戸に配布した。2度の縦覧でも反対意見はなく、変更に至った。今年6月には区画整理に興味を示している事業者が勉強会を開催し、機運醸成が図られた。また、地区計画は、現在、測量の契約をして進めている。

太田ヶ谷緑地保全事業

Q 今後の管理は。

A 都市計画課主席主幹 太田ヶ谷自治会の有志の方々、大谷川源流の会、NPO法人つるがしま山サポートクラブの協力等を得て、下草刈りなどの保全活動や里山体験環境学習等の開催をしていただいている。



保全活動の様子

学校法務相談等体制整備事業

Q 法的相談の件数は。

A 学校教育課長 全ての学校を訪問して、弁護士から対応に苦慮した事例への法的なアドバイスをいただき、学校事故の未然防止に努めた。

中学校英語技能検定取得推進事業

Q 具体的な取組は。

A 学校教育課長 英語科の教員が同僚のアドバイスを参考にALITとともに授業を練り

上げて質を高めていき、授業の充実を図っている。また、夏季休業期間中に英検講座を中央図書館の2階を借りて実施した。英語技能検定の取得は学習意欲の向上につながった。



特別会計

国民健康保険

Q 傷病手当の支給対象者数は。

A 保険年金課長 7月に1件の申請があった。

Q 特定健診の受診率は。

A 保健センター所長 元年が41・2割、2年は36・2割で、5ポイント減少した。

Q A-1を活用した受診勧奨の成果は。

A 保健センター所長 未受診者を4つのタイプに分け、タイプ別にハガキを送付した。コロナ前の元年度の実績では、7・5ポイント受診率が上昇し、伸び率が県下で1位タイであった。

後期高齢者医療

Q 新型コロナウイルス感染症の影響による高齢者の受診控えの実態は。

A 保険年金課長 医療費の実態は把握していない。保険料の減免制度の利用は、元年度分7人、2年度分9人である。



介護保険

Q 介護施設での新型コロナウイルス感染症への感染の実

態と施設の利用控えの実態は。
A 介護保険課長 2年度には、介護事業所関係で感染者が確認されているが、クラスター等は発生していない。

また、施設の利用者数は、第1回目の緊急事態宣言が発令された昨年5月に通所系の利用状況が極端に落ちている。

Q 介護の申請から認定までの日数は。
A 介護保険課長 2年度、1691件認定した。平均日数は28・8日である。



特別会計決算

国民健康保険

歳入 65億6020万円
歳出 63億4254万円

後期高齢者医療

歳入 8億1671万円
歳出 8億1481万円

介護保険

歳入 47億3299万円
歳出 42億8762万円

一本松土地区画整理事業

歳入 1億9531万円
歳出 1億8056万円

若葉駅西口土地区画整理事業

歳入 3億4262万円
歳出 3億2179万円

市の考えを問う 一般質問

9月15日・16日・17日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。

Q 住民本位の地方自治の実現を

おおた 太田 ただよし 忠芳 議員



A デジタル化は事務の効率化の手段の一つ

問 定員管理計画について。

国の指針に沿った職員削減計画であり、市民の状況、市民福祉の向上の視点はあったのか。増える行政需要に少ない職員でどう対応するのか。比重が増す非正規職員の待遇改善について見解は。コロナ禍で露呈した非常時の職員体制は。

答 地方自治の原則である最少の経費で最大の効果を挙げる基本に加えて、国の方針に基づいている。安定した市民サービスを提供するために増大する行政需要、職員の年齢構成の是正、事業の実施主体の整理に対応する必要はある。会計年度任用職員（非正規職員）の待遇は法律に従う。非常時の危機管理対応の体制は位置づけたい。

問 デジタル化について。

業務システムの標準化、共同化にどう対応する方針か。また、



市役所庁舎

デジタル化業務は職員主体で遂行するのか。窓口業務などもデジタル化でオンライン化、無人化ができるというが見解は。

答 行政運営の効率化だけではなく、市民サービスの維持向上にも取り組む。副市長を中心に、職員主体で対応する。AIやRPAは事務の効率化の手段の一つであり、相談業務などはマン

パワー中心に行うべきと考える。生活困窮者自立相談支援セン



問 令和3年版厚生労働白書では、新型コロナウイルスの感染拡大が与えた影響として、女性への影響を取り上げている。当市の女性への影響と対応状況は。

答 昨年度は、女性のための法律相談の件数が32件と非常に増え、こども支援課の女性相談・DV相談は前年度比1.7割と増加している。

生活困窮者自立相談支援セン

Q 新型コロナウイルス、女性への影響

おおの 大野 ひろこ 洋子 議員

A

社会経済の構造転換を進める国策を、市のプランに位置付ける



ターでの女性からの新規相談が81件で前年度比95割、就労支援が10人で前年度と同数である。住居確保給付金は、女性の世帯主へ17件支給した。

問 感染症の拡大は、女性の生活と雇用に大きな影響を及ぼした。働く女性の半数以上が非正規雇用であり、女性が一人で無理なく生きていくモデルが確立されていない。女性の貧困問題を改めて問うべきではないのか。

答 ジェンダー平等、男女共同参画が十分でなかったことがコロナ禍において顕在化した。国は女性の登用、採用の拡大、女性視点の税制改革といった社会経済の構造転換を進める方針である。市も第6次鶴ヶ島市男女共同参画推進プランに位置付け、課題解消に向けて取り組む。

◎**その他の質問** 学校の未改修トイレの改善を

Q 子どもが安全に通学 できる環境整備を

小林ひとみ 議員
こばやし



A 交通弱者の立場に立った 交通安全対策に努める

問 通学路点検の取組は。

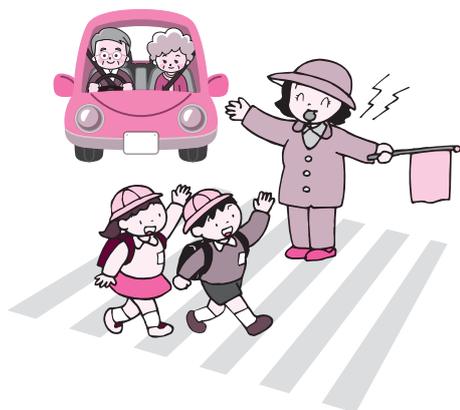
答 千葉県八街市の痛ましい事故を受け、直ちに改めて通学路点検を行うよう指示をした。結果を踏まえ、道路の安全性を向上させるためのグリーンベルトの設置、外側線の復旧、ラバーポールの設置を行う。また、自動車運転者への注意喚起を促す啓発反射材の更新と新設を行う。

問 全対策や交通安全に関する教育、普及啓発活動に引き続き注力する。

答 登下校時の防犯対策は、教職員が定期的に登下校指導を行い、安全を見守っている。

問 登下校時の防犯対策は、

答 小学校では、スクールガードリーダーを中心に交通指導員、PTA、学校応援団や地域支援会、協議会の方が見守り活動を行っている。不審者情報があった



Q 交通安全対策について

おがわ 小川 議員
しげる 茂



A 危険箇所の解消に努めている

場合は、児童・生徒に注意を促し、日常的に犯罪から身を守る意義を高めている。

問 防犯カメラを通学路に設置する考えは。

答 大変有意義であると認識しているが、通学路が細かく枝分かれしているなどの課題があり、更なる検討が必要である。

◎その他の質問 奨学金を活用した若者の地方定着促進について



啓発反射看板を設置した道路

問 通学路の定期点検の実施は。

答 各小・中学校で作成する学校安全計画に基づき、各年度当初に定期的に安全点検を実施している。また、児童・生徒が登下校する際には、教職員による立哨指導、スクールガードや学校応援団等による安全確認を実施している。

問 市民からの危険箇所の指摘や改善要望は。

答 昨年度は78件の指摘や要望があった。寄せられた意見に対しては、速やかに状況を確認した上で対応を検討し、必要な交通安全対策を実施している。

問 放置自転車の現状と課題は。

答 放置自転車の撤去は、鶴ヶ

島駅、若葉駅及び一本松駅で、毎月不定期に実施している。昨年度は150回の撤去作業を実施し、81台を撤去した。課題は、若葉駅西口の商業施設敷地内に置かれる自転車が歩道にはみ出し、点字ブロックを塞ぐ状況が頻発していることであり、週に1回不定期に指導・誘導業務を実施し、直接注意を促している。

問 今後の更なる安全対策は。

答 誰もが安心して暮らせる交通環境づくりに向けて、事故原因や危険箇所の把握とともに、交通安全施設を整備する。また、交通安全教育も実施していく。

Q 子どもの食がピンチ

いしづか せつこ
石塚 節子 議員



A 子どもたちが安心して食べられるような鶴ヶ島にしていく



「児童は、人として尊ばれる。児童は、社会の一員として重んぜられる。児童は、よい環境のなかで育てられる。」と宣言した児童憲章制定から今年で70周年。食の欠乏、虐待やいじめなど、社会の一員として重んぜられるどころか、人権や命を脅かされる現実がある。昨年自ら命を絶った児童・生徒は全国で499人。生活困窮家庭では給食のない夏休みに子どもに満足な食事を食べさせられない家庭もあるという。

問 支援が必要な家庭の子どもへの食の支援は。

答 子ども応援サイトを活用して食材や弁当を提供し、支援を行っている。食材は月に1回から3回、弁当は月に1回程度、

25から40家庭に配布している。**問** 児童・生徒の自殺対策は。

答 授業等を通して、命の大切さを気づかせることが重要である。また、児童・生徒には、不安や悩みは一人で悩まず、誰かに相談するよう指導している。各校にスクールカウンセラーなどを配置し、いつでも相談できる環境を整えている。

問 給食費無償又は補助を行っている自治体は。

答 県内では、4町村が無償化、補助は15市町で実施している。

Q 地域産業、地域経済活性化に向けた取組

うちの
内野 嘉広 議員



A 憩いの場、にぎわいの場の創出も一つの手法と考える

問 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う本市の地域経済対策について。

答 昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策事業者支援事業、新型コロナウイルス感染症対策緊急特別融資事業、地域事業者クーポン応援事業を実施した。本年度は8月に新型コロナウイルス

問 新型コロナウイルス感染症対策地域経済活性化ポイント還元事業を実施した。

答 新型コロナウイルス感染症収束後における地域産業の活性化に向けた取組について。

問 今回の事態により、大きな影響を受けた市内事業者を重点的に支援していく。国や県が行う広範な救い上げをサポートし



鶴ヶ島駅西口商店会（サマーカーニバルの様子）

ながら、その網から漏れる事業者への救済や地域での循環に特化した独自の経済施策を検討していく。

問 株式会社関水金属と鶴ヶ島駅の間を起終点とした導線への民間活力を活用した取組について。

答 株式会社関水金属の工場移転に併せて、市内企業との連携、地域資源を活用した新たな魅力の創出、商店街の活性化などを含めながら、工場移転や工場周辺の整備を核とした、鶴ヶ島駅周辺のまちづくりの方向性について、構想などを考えていく。

Q 市長の2期目の公約 について

はせがわ きよし
長谷川 清 議員



A 鶴ヶ島市の魅力を向上させます

問 齊藤市長の1期目においての選挙公約はなく、市長就任後において、交通安全を鶴ヶ島市の最優先課題に位置付け、道路交差点において薄くなって消えかかっている停止線前の「止まれ」の文字の塗り直しに成果が得られたとされてきました。

しかし、市長2期目の立候補に際しては、「食の駅構想」、「Nゲージのテーマパーク構想」、

「若葉駅東口の再開発構想」の三つの構想を公約として掲げられたので、その内容について説明を求めます。

答 「つるの駅構想」は、圏央鶴ヶ島IC周辺に、食やにぎわいをテーマにした新しい交流の場をつくりたいと考えている。

「鶴ヶ島駅周辺におけるまちづくり構想」は、株式会社関水金属の工場を核として、官民連



市役所庁舎

携による魅力あるエリアを創出するもので、多数の鉄道ファンが訪れることが予想される鶴ヶ島駅から(株)関水金属までの地域の環境等を整備する。

「若葉駅東口周辺地域の構想」は、ワカバウォーク周辺の容積率を高めて高度利用が出来るようにすることで、民間企業等が参入しやすいような環境を整え、市有地を含めた大規模な展開を図る。

Q コロナ禍での人材確保 について

まつお たかひこ
松尾 孝彦 議員



A 県や関係機関と連携し、介護人材確保に寄与する

問 コロナの影響による介護職員の離職・休職について。

答 全国的には、サービスの利用控え等で、事業所の運営が厳しくなり、事業の休止や廃止を余儀なくされた事業所もあるようだが、市内では現時点でそのような事態には至っていない。

また、コロナ禍の影響による介護従事者の離職、休職の相談や報告は受けていない。

問 在宅介護の現状について。

答 通所リハビリテーション及び地域密着型通所介護の2つのサービスが、前年度を下回る利用実績となっている。また、ショートステイサービスも同様に利用者数が減少しているが、利



用延べ日数は前年度に比べて増加しているため、給付費も増加した。

問 今後の具体策について。

答 令和3年の介護報酬改定では介護人材の確保、介護現場の革新を喫緊かつ重要な課題として位置づけ、手当関係に係る処遇改善加算等の見直しを行った。また、県でも介護の仕事の魅力を増やすためのイメージアップ事業や介護職への定着を図るための資格取得支援事業など、人材確保、定着に向けた各種事業を展開しており、市でも、継続して県に協力している。

Q 交通安全対策について

おおそねひであき
大曾根英明 議員



A 適切な対応に努めていく



問 交通事故件数の推移について。

答 平成28年が1727件、29年が1684件、30年が1700件、令和元年が1590件、2年が1459件である。

問 実施された交通安全対策と効果について。

答 市では、交通安全対策を最重要施策として掲げ、交通事故を減らす、死亡者をゼロにすることを目標に、道路や交通安全施設等の整備、交通安全の教育、啓発を積極的に推進している。その成果として、市内の交通事故発生件数は年々減少し、令和元年10月8日以降、死亡事故ゼロを継続している。

問 危険箇所の把握と対応について。

答 道路パトロールや総点検のほか、地域住民などから情報を得た上で、状況などを確認し、必要な安全対策を講じている。

問 今後の課題と要望への対応について。

答 交通安全対策を着実に推進するためには、ハード面とソフト面の両対策を道路管理者や警察と連携し、きめ細かく継続的に実施していくことが必要である。市民の皆さんからの要望にしっかりと向き合いながら適切な対応に努めていく。

Q 未来を育てる教職員の資質向上を願って

かないずみぶきこ
金泉婦貴子 議員

A 教職員の不祥事根絶に全力で取り組んでいく



問 教職員による不祥事や事故防止への取組について。

答 研修や意識啓発に取り組むほか、埼玉県作成のチェックシート^①の活用、毎月の校長会での繰り返し指導など、教職員各々が責任と使命を自覚できるように取り組む。

問 体罰の把握について。

答 全教職員に注意喚起し、未然防止に全力で取り組んでいる。

問 教職員等による児童生徒性暴力等の防止に関する法律について。

答 法律が可決・成立したことを教職員一人ひとりが重く受け止め、自身の使命や責任の重さを改めて自覚し、性暴力が絶対



起こらないようにする。

問 事故を起こした教職員への処分について。

答 法令に基づき行われる。

問 再発防止と研修体制について。

答 指導主事が各学校の研修を参観し、自らの倫理観を高め、法令遵守に努めるよう指導、助言を行い、事故根絶を徹底する。

問 教職員の働き方について。

答 働き方改革を推進し、教育の質の維持向上に取り組んでいく。教員としての自信と誇りを持って教育活動を行えるようになり、事故の防止につなげる。

Q 学校におけるICTの活用と今後

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員



A 全体の底上げを図る

問 学習用端末の活用状況は。

答 学校では学習用端末を、調べ学習等の日々の授業で活用している。また現在、端末を自宅に持ち帰り、オンライン授業等にも取り組んでいる。

問 新型コロナウイルスの感染拡大により、オンライン授業をいつでも行えるような環境整備が必要であることを以前より申し上げている。現状は。

答 通信環境整備の支援策として、貸出し用のモバイル通信ルーターを用意している。また、通信の接続が困難な家庭には、情報教育環境運用支援員が問合せに応じ、必要な支援をする。

問 一部の学校では端末整備後も授業でほぼ活用されず、オンライン授業ができるか慌てて確認したと伺っている。今後の取組は。



学習用端末を使用した授業

Q 中学校における部活動の現状と今後

たかはし けんじ
高橋 剣二 議員



A 活動の場を維持出来るよう努めていく

答 現在、GIGAスクール推進委員会を立ち上げており、各学校に中心的な役割を担う教員がいる。また、ICT支援員等も活用しながら、全体の底上げを図っていききたい。

問 登校とオンラインを選択できるハイブリッド授業を。

答 柔軟に対応したい。

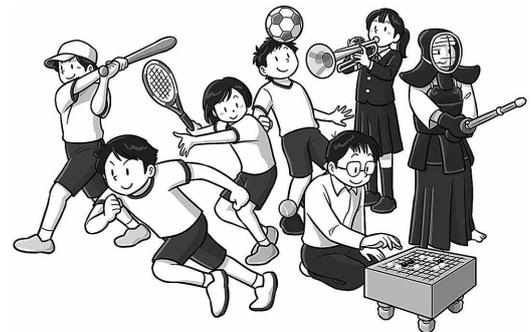
◎その他の質問 交通安全対策の推進について

問 過去10年ほどの各中学校の部活動数と在籍生徒数の変遷は。

答 平成23年度の1853人から徐々に増加し、29年度の1966人をピークに減少し始め、令和3年度は1754人となった。部活動数は69で、ほとんど増減はない。

問 部活動の在籍率と外部習い事の関係について。

答 部活動の在籍率は、23年度より令和3年度はわずかに増加している。芸術や文化、スポーツなど外部の習い事の幅も以前に比べると広がっている。生徒が興味や関心を持って選んだ場を大切にし、自分の可能



問 性を最大限に伸ばしていけるようにすることが重要である。

問 他校や他市との合同チーム編成の考え方について。

答 合同チームは、生徒の選択肢を広げる意味でも有効な手段となっている。市内の学校同士で編成した野球部が一つ、市外と編成したソフトボール部が一つあるが、今後も状況に応じてこの制度を有効に活用し、生徒の興味や関心に合わせて活動の場を維持出来るように努めていく。

◎その他の質問 鶴ヶ島市の交通安全対策について



Q

鶴ヶ島市における特別支援教育について

もちだ やすあき
持田 靖明 議員

A

個に応じた多様な学びの場の整備に努めていきたい



問 巡回型の通級指導教室に取り組む考えは。

答 巡回型の実現には、いくつか課題がある。地域性も考えながら、検討してみたい。

問 学級運営補助員の配置状況は。

答 他市町に引けを取らない支援体制を取っている。実情を把握し、各学校に必要な人数を配置できるように、財源的なことも含めて協議を進めていきたい。

問 児童・生徒、その保護者が専門的な立場の方と相談するには。

答 学校の担任や管理職又は教育センターに相談をいただければ、坂戸保健所や専門の医療機関につなげることができる。

問 専門性の高い支援や指導を

より充実させるためには。

答 県立の特別支援学校による巡回指導では、担任や補助員等が、支援や指導に対する具体的なアドバイスをいただくことができる。大変有効な機会であり、積極的に活用していきたい。

問 市内の特別支援学級に通う児童・生徒のための支援籍学習の希望があった場合は。

答 実績としては少ないが、有効な取組である。在籍する小・中学校又は教育センターに相談いただければ調整する。

Q

新町住宅について

つるしばた
漆畑 和司 議員



A

存続か廃止か、今後しっかり見極めていく

問 施設の建設経緯及び施設として目指した姿について。

答 平成10年度に鶴ヶ島市住宅マスタープランを策定し、これを受けて、16年度に埼玉県住宅供給公社所有の住宅を市営住宅として整備した。

問 鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画（案）作成後の市民意

見について。

答 「新町住宅は県へ委託するのかなくすのか。入居率は何割なのか。」「市営住宅を廃止するなど住民負担の軽減を図るべきだと思う。」という2件の意見が寄せられた。

問 施設の利用状況について。
答 16年10月から令和3年3月



市営住宅

末までの平均入居率は、97・85割となっている。本年8月末時点では、全29戸のうち2戸が空室となっている。

問 建物老朽化の状況について。
答 埼玉県住宅供給公社が平成30年3月に建物診断を行ったところ、早急に修繕を要する老朽箇所等は見当たらなかったと報告を受けている。

問 廃止の時期について。
答 計画（案）では、埼玉県住宅供給公社との賃貸借契約の終了に伴い、令和6年9月30日です市営住宅としての用途を廃止するとしている。

議案番号	議案の名称	議員名等	審議結果	新政クラブ				大空・つるがしま未来				公明党		日本共産党		賛成	反対・賛成せず					
				持田 靖明	小川 茂	杉田 恭之	高橋 剣二	金泉 婦貴子	藤原 建志	出雲 敏太郎	内野 嘉広	近藤 英基	大曾 根英明	漆畑 和司	山中 基充			松尾 孝彦	小林 ひとみ	太田 忠芳	石塚 節子	大野 洋子
議案第49号	令和2年度鶴ヶ島市一般会計歳入歳出決算の認定について		認定に決す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1	
議案第50号	令和2年度鶴ヶ島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		認定に決す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第51号	令和2年度鶴ヶ島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		認定に決す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第52号	令和2年度鶴ヶ島市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		認定に決す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第53号	令和2年度鶴ヶ島市坂戸都市計画事業一本松土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認定に決す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第54号	令和2年度鶴ヶ島市坂戸都市計画事業若葉駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認定に決す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第55号	令和3年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第6号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0

委員会審査

条例

議案第43号

鶴ヶ島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、保育所等が書面で記録等しいたものを電磁的記録により行うことができる規定等を追加するものです。



令和3年度の一般会計補正予算を1件及び特別会計補正予算4件が可決されました。

一般会計(第5号)

地方交付税と臨時財政対策債

Q 決定額は妥当か。

A 財政課長 地方交付税は、

全国統一の一定のルールに基づいて客観的に推計した結果を基に算定されており、各団体の裁量の余地はなく、妥当なものと考える。

のと考える。

臨時財政対策債は、基準財政需要額と収入額との差額が地方交付税として算定され、その一部を市町村の負担分として振り替えたもので、交付税の決定と併せて国で決定されるため、交付税と同じく妥当だと考える。

庁舎維持管理事業

Q 自家発電装置について

A 資産管理課長 庁舎非常用

当面の間、仮設の非常用電源設備をレンタルするための使用料である。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

Q 市の対応は。

A 保健センター所長 65歳以

上の高齢者の一回目の接種率は、9月6日現在、約89%である。未接種の高齢者には優先的接種をする。また、民生委員等を通じた未接種者の掘り起こしも行っている。それでも、接種が難しい場合には、在宅診療等を行う医師が訪問し、接種することも考えている。

Q 接種を促進するための周知の方法は。

A 保健センター所長 接種券の送付の際にワクチンの種

類や被る副反応等を勘案して接種いただけるような周知文を同封している。ほかにも、市の広報やホームページで周知をしている。

一般職員給与と費

Q 職員の時間外手当の内容は。また、接種に係る人件費は、

全額国庫支出金ではないのか。

A 保健センター所長 10月以

降の新型コロナウイルスワクチン接種に係る職員の時間外手当である。当初4人で見込んでいたが、6人に増員している。この費用は全額国庫補助が導入されるが、今回の分の補助の上限額等が示されていない。そのため、一時的に今回の補正予算を組み、国の措置が決まり次第、財源内訳の措置を行いたい。なお、今回の補助金の対象は、時間外手当のみであり、職員の本給には充てられない。

放置自転車防止対策・リサイクル事業

Q 光熱費の内容は。

A 安心安全推進課長 富士見

の電気料金と水道料金である。昨年の10月、脚折地内から富士見地内に移転したが、移転前の料金を基に算定したところ、実

際に使用する量が見込みより多く、今後の支払金額に不足が生じる恐れがあることから、補正を行った。

交通安全設備整備事業

Q 市内全域にわたる事業か。

A **安心安全推進課長** 過日の

千葉県八街市での通学路の事故を受け、本市でも危険箇所へ飛び出し注意の啓発看板等に購入し、早急に整備する。市内全域に設置済みの看板等については、経年劣化や道路環境の変化による交換の必要性について点検整備を進めていきたいと考えている。

道路交通環境安全対策事業

Q 改善要望の箇所の数と今回

A **道路建設課長** 国道等を除

いた市道に関する要望が112か所あった。今回は、小・中学校の通学路及び幼児、園児が利用している路線であること、交通量のある市内の幹線道路であること、今回の点検での要望箇所、また、以前要望等があった路線の3つの要素を満たす道路を選択している。

国民健康保険特別会計

傷病手当金に要する経費を補正するものです。

介護保険特別会計

介護給付費準備基金積立金に要する経費、介護給付費等償還金に要する経費等を補正するものです。

一本松土地区画整理事業特別会計

若葉駅西口土地区画整理事業特別会計

Q なぜ出来形確認測量事業が補正対応となったのか。

A **区画整理課長** 次年度での予定だったが、条件が整ったので、計画を前倒して事業を進めたいと考えた。

交通事故防止運動街頭指導に参加！

令和3年7月16日、夏の交通事故防止運動における街頭指導が実施され、鶴ヶ島市議会交通安全推進議員連盟として参加しました。

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、啓発品とチラシの配布を行いました。『コメントリー』運動の推進、コメントリー運動とは、刻々と移り変わる交通の状況を「声に出す」ことによって安全意識を高める運転方法のこ



とです。声に出し、注意力の低下を防いで、漫然運転を防ぎましょう。

次回定例会のお知らせ

次回の令和3年第4回定例会は、11月29日(月)に開会の予定です。

議会の日程は、開会日の5～2日前に決定し、市のホームページのほか、市役所1階などの議会情報コーナーで御案内します。

ホームページはこちらから

<https://www.city.tsurugashima.lg.jp/page/dir000016.html>



鶴ヶ島市議会

検索

《請願書書式例》

(表紙)

〇〇〇〇に関する請願書

請願者 住所 〇〇〇〇
氏名(請願者(代表者)の署名)
(外〇〇人)

紹介議員 (署名)

(内容)

1 件名 〇〇〇〇に関する請願
2 要旨 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
3 理由 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

上記のとおり地方自治法第124条の規定により、請願します。

令和〇年〇月〇日

鶴ヶ島市議会議長 〇〇〇〇 様

住所 〇〇〇〇〇
氏名 (請願者(代表者)の署名)
(外〇〇人)

《署名簿の書式例》

1 件名 〇〇〇〇に関する請願
2 要旨 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
3 理由 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

上記のとおり地方自治法第124条の規定により、請願します。

鶴ヶ島市議会議長 〇〇〇〇 様
署名欄

住	所	氏	名

※請願者が複数の場合は、署名簿を添えてください。

請願者による意見陳述の試行も行っています。



請願や陳情は、皆さんの要望を直接政治に反映させる方法の一つです。

- 1 請願には、紹介議員として1人以上の市議会議員の署名が必要です。紹介議員がいない場合は、請願ではなく、陳情となります。
- 2 件名、要旨、理由を簡潔に記載してください。
- 3 提出年月日、請願者の住所(法人の場合は所在地と名称)を記載し、請願者(法人の場合は代表者)が署名してください。
- 4 複数人で請願を出す場合は、代表者を1人決めて(外〇〇人)と記載してください。
- 5 請願はいつでも受け付けていますが、3月・6月・9月・12月に開催される定例会ごとに期限を定めています。
- 6 陳情書は、請願書の書式に準じて作成してください。
- 7 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

書式例は議会のホームページからダウンロードできます。

ホームページはこちらから

鶴ヶ島市議会

検索



あなたの声を市議会に

「請願・陳情の出し方を紹介します」



市民と議員の懇談会

— 議会報告会 2021 —

開催しました！



新型コロナウイルスの感染拡大により、対面による意見聴取を取りやめ、令和3年8月21日(土)及び22日(日)にオンライン会議 (Zoom) を利用したリモートで皆様の御意見を伺い、合計53人の参加がありました。

ほかにも、アンケートを市議会ホームページやツイッターで募集し、自治会長様や各地域支え合い協議会にも依頼して86件のご意見をいただきました。



西・北市民センター地域 (参加者数：18人)

- ・ 学校を地域のコミュニティの場となる多機能の施設にしてほしい。
- ・ 通学の安全面が心配。見守りの強化・防犯カメラの設置など考えてほしい。
- ・ 顔を合わせて意見交換をしたい。

- ・ A B C 案とか、もう1つの代替案があるべきでは。なぜ今回は1本なのか？
- ・ 4か所小・中学校統合の立派なのを作るとかというような計画はなかったの？
- ・ 児童の減少が大前提の計画だが、埼玉県の中でも人口が横ばいでポテンシャルがある。政策努力が反映されていない。



東・富士見・南市民センター地域 (参加者数：21人)

- ・ 学区はもっと検討を。
- ・ 2キロくらい歩くのは健康的に大賛成。
- ・ スクールバスをやるべき。



大橋・南市民センター地域 (参加者数：14人)

当日及びアンケートで頂いた御意見はこちらで御覧いただけます。
<https://www.city.tsurugashima.lg.jp/page/page008180.html>



鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画(案)に関する報告書を市長に手渡しました！

鶴 議 第 1 1 7 号
令和 3 年 9 月 3 0 日

鶴ヶ島市長 齊 藤 芳 久 様

鶴ヶ島市議会議長 山 中 基 充

鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画(案)に関する報告書

当議会は、令和3年3月に公表された「鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画(案)」に関して、共に当市の未来を創る一翼として、本計画(案)をより良いものとするために市民の皆様の御意見を幅広く聴取するべく、聴取の場として議会報告会を開催し、アンケートの募集を行った。については、8月21日(土)及び22日(日)に開催した議会報告会に寄せられた市民の御意見及び9月10日(金)までに寄せられたアンケートの回答を取りまとめたので、下記のとおり報告する。

記

1 報告概要

(1) 議会報告会2021-オンライン (Zoom) で開催

ア 西・北市民センター地域 参加市民：14人

イ 東・富士見・南市民センター地域 参加市民：21人

ウ 大橋・南市民センター地域 参加市民：18人

(2) アンケートによる意見聴取

用紙提出：86人

ア 年齢別

合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	未記入
86	1	2	5	14	18	40	6

イ 学校区別

合計	第一小	第二小	新町小	杉下小	長久保	栄小	藤小	南小	未記入
86	6	14	28	5	8	10	4	8	3

2 アンケート質問項目及び主な意見

計画(案)については、おおむね賛成、妥当、やむを得ないとの意見が多かった。

(1) 小・中学校の再編について

再編については、おおむね肯定的な意見が多かったが、通学距離が伸びることによる児童・生徒の安全確保について、多くの意見が寄せられた。

・通学路の安全確保、点検整備が必要。

・通学距離が長くなる児童には、スクールバスの利用が望ましい。

・小中一貫教育、南小中一貫校におけるメリット・デメリットを検討すべき。

など

(2) 小・中学校以外の公共施設について

市民活動推進センターの廃止後の市民団体の活動支援、災害時の避難場所の確保を心配する意見や、市営住宅の存続を望む意見が多かった。

・借地による財政負担が大きいため、公共施設を集約・複合化したりするべき。

・市営新町住宅の廃止後はどうなるのか。生活に困窮する世帯が増える可能性がある状況で住宅の確保ができるのか。

など

(3) 実施する時期について

可能なものからできる限り前倒しして実施すべきという意見や、状況の変化に合わせて適切に見直しを行って欲しいとの意見が多かった。

・社会情勢を的確に把握、判断し、計画の随時見直し修正を行い、やるべきことは早急に実施すべきと思う。

・財政面を考慮して早期が望ましい。

・5年ごとの見直しの検討は、市民に公表し、意見を集めることも大切です。

など

令和3年9月30日、市長に議会報告会やアンケートにおいて把握した鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画(案)への市民の意見を手渡しました。



鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画(案)に関する報告書の全文はこちらで御覧いただけます。
<https://www.city.tsurugashima.lg.jp/page/page008451.html>



議会Twitterが始動

新たに8月からツイッターを開始しました。ぜひ御覧ください。



@tsuru_shigikai

https://twitter.com/tsuru_shigikai



議会報編集委員会から広報広聴委員会へ！

令和3年5月から、議会報編集委員会から広報広聴委員会になり、これまでの市議会だよりの編集及び発行に加え、初めての広報広聴委員会の事業として、8月に議会報告会を開催しました。

これからも広聴機能に力を入れていきます。





<インタビューに参加された南中学校生徒会の方々>

会長：渡部慶直さん、副会長：安野真央さん、千葉美優さん、書記：中村碧さん、武藤来音さん、
会計：北條巧也さん、清水俐花さん (順不同)

市民・団体
インタビュー

南中学校
生徒会



市議会

校則の改正を始めとした、幅広い様々な活動を行う南中学校生徒会。
令和3年7月15日(木)に南中学校生徒会の皆様にインタビューしました。

●立候補のマニフェストは

入学して生徒手帳を見たとき中学生らしくなどの曖昧な表現が多く、疑問に思ったので、校則の改正に挑戦しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で先輩に会えなかったのも、挨拶を増やして南中学校を明るくしたいと思えました。

ほかにも、アルミ缶等の回収を通して、困っている人や学校へ貢献を考えました。

●校則改正のポイントとメッセージは

校則は、社会に出る準備期間には必要なものですが、校則による不利益がないように改正しました。校則に関する生徒のアンケート内容は、わがままなのか、改正要望なのか、具体的な根拠があるものなのかの区別が大変でした。体験を通して、「自分たちの意見で校則を変えられる」ことを先輩たちに伝えたいと思います。

●鶴ヶ島が好き!

災害が少なく、地域の人たちとの関わりが深い鶴ヶ島が好きです。

また、ボランティアでゴミ拾

いや、放課後に中学生が小学生の面倒をみたりしたら、まちが元気になるのではないのでしょうか。

スクールガードやお祭り、サザン地域支え合い協議会から、地域の人のつながりのイメージがあります。

●市議会議員の立候補者を増やすアイデアは

投票率が低いのは、若い世代が選挙の重要性を理解していないからだと思います。

将来、投票には行きたいですが、情報がないので誰に投票していいかわかりません。生徒会が何をやっているのかが分からないとか、面倒くさいと思われるのと同じではないでしょうか。

社会科学見学やインターンシップで体験したら、実際の活動が分かるので、いいと思います。学校で市議会のことを学べれば、大人になってから自分もできると思えるかもしれません。

ほかにも、南中学校は翔南祭で好きな講座を選んで体験する企画があります。そこで、市議会という講座を作ったらどうでしょうか。

市議会は市民の声を直接聞かれます!

編集
後記

昨年、南中の生徒会が、校則について生徒の意見を集めていたのと同じ頃、先生方は制服について話し合っていました。

コミニティスクールの会議から是非推進するようにとの後押しがあり、この夏、校内に白、黒、紺のポロシャツを着た生徒たちの姿が登場スカートとストラックスの選択も自由になりました。

髪型や靴下などの決まりについては生徒が自分たちで改正案を作成しました。

校則の改正後、文部科学省から校則を絶えず見直すことを求める通知が届きました。鶴ヶ島には、国よりも早く爽やかな風が吹いたようです。

(広報広聴委員)

- 委員長 大野 洋子
- 副委員長 内野 嘉広
- 委員 松尾 孝彦
- 委員 小林 ひとみ
- 委員 太田 忠芳
- 委員 石塚 節子
- 委員 持田 靖明
- 委員 杉田 恭之

(大)